追手門学院大学のポリシー

用語解説

追手門学院大学では、各学部において、ディプロマ･ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）をそれぞれ次のように定め、カリキュラムマップとして示しています。

ディプロマ・ポリシー

各学部の学位授与方針をディプロマ・ポリシーとして掲げています。

これは、学部の教育目的に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものです。

どのような学修成果に対し卒業を認定し、学位を授与するのかという方針を示しており、卒業後のキャリアも見据え、卒業時に「何ができるようになっているか」が明示されているといえます。

カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針をいいます。

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

ディプロマ・ポリシーを踏まえ編成されている学部・学科の教育課程にて、どの科目がどういう学習成果と関係するかが示されています。このカリキュラム・ポリシーはカリキュラム・マップに可視化されていますのでよく確認してください。学修方法・学修過程について理解することで、よりよい学びに繋がります。

アドミッション・ポリシー

各学部・学科の教育目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果（「学力の３要素」※についてどのような成果を求めるか）を示すものです。

※（１）知識･技能、（２）思考力･判断力･表現力等の能力、（３）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

カリキュラム・マップ

各学部では、教育目的を踏まえた三つのポリシーを策定し、大学教育の「入口」（入学者選抜）から「出口」（卒業認定・学位授与）まで一貫した教育課程を三つのポリシーに基づき編成しています。カリキュラムは学部・学科の専門科目と大学共通の基盤教育科目から構成されます。三つのポリシーとともに各学部・学科の科目構成をカリキュラムマップで可視化していますので、履修登録などの際に、各科目のカリキュラムでの位置づけを確認することができます。卒業認定・学位授与に向けたよりよい学びを進めるために、なにを学ぶのか、なににつながるのかを理解し、学修に役立ててください。

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　文学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	日本文学・日本語・日本史・日本文化に関する学びを通して、高い理解力と思考力をに身に付け、専門的知識を活用して思考・行動ができるとともに、創造的に問題解決を図り、新しい文化や時代を創出することができる人材を養成する。					
ディプロマポリシー[1]	＜知識・理解＞ (1) 古典から近現代までの日本文学を深く理解し、説明することができる。 (2) 日本語の諸現象について深く理解し、説明することができる。 (3) 日本の歴史、文化について深く理解し、説明することができる。 (4) 文化的建造物とその様式美について深く理解し、説明することができる。 ＜思考・判断＞ (5) 日本文化 (文学、日本語、歴史、美術、文化的建造物) の諸相を他の文化との関係の中で客観的に考え、位置づけることができる。					
科目区分	専門基礎科目群					
	学科共通科目	専門演習科目	専門研究科目	専門基本科目	日本文学専攻	
					専門基幹科目	専門展開科目
４年次		LH12402 専門演習５ LH12401 専門演習４	LH13401 卒業研究			
３年次 または ３年次以上		LH12302 専門演習３ LH12301 専門演習２				LH22311 日本文学特殊講義３（超域） LH22310 日本文学特殊講義２（近現代） LH22309 日本文学特殊講義１（古典） LH22308 アニメ・漫画文化論 LH22307 シナリオ論 LH22306 近代演劇論 LH22305 芸能研究 LH22304 文学作品研究 LH22303 アジアの文学 LH22302 大阪・京都の文学 LH22301 批評理論
２年次 または ２年次以上		LH12202 専門演習１ LH12201 文献講読			LH21210 日本語史 LH21209 日本語学２（文法） LH21208 日本語学１（音声・音韻） LH21207 日本文学史２（近現代） LH21206 日本文学史１（古典） LH21205 日本文学５（漢文２） LH21204 日本文学４（漢文１） LH21203 日本文学３（超域） LH21202 日本文学２（近現代） LH21201 日本文学１（古典）	LH22205 書道２ LH22204 書道１ LH22203 日本芸能史 LH22202 日本語の方言 LH22201 日本の芸能と文学
１年次 または １年次以上	LH11103 人文学演習 LH11102 日本学入門 LH11101 新入生演習			LH14116 人文学情報検索法 LH14115 博物館入門 LH14114 くずし字 LH14113 建築文化入門 LH14112 日本美術史概論 LH14111 美学概論 LH14110 日本文化論 LH14109 文化人類学 LH14108 グローバル化と日本 LH14107 日本史概論 LH14106 日本語学概論２ LH14105 日本語学概論１ LH14104 古典基礎２ LH14103 古典基礎１ LH14102 日本文学概論２ LH14101 日本文学概論１		
卒業要件	６単位	１２単位	６単位	１２単位以上	日本文学専攻の者は 10 単位以上修得すること	日本文学専攻の者は 16 単位以上修得すること
カリキュラムポリシー[2]	・文学、日本語、歴史・文化、美学、建築文化といった人文学各分野の基礎を広範に、そして深く理解するために、学科共通科目及び専門基本科目を置く。ここでの学びを通じて、人文学的なものの見方、捉え方を身につける。 ・人文学について総合的に学び、それをさまざまな形で発信するために、演習科目を中心とした専門演習科目及び専門研究科目を置く。ここにおいて２年次秋から始まる「専門演習」を４年次秋まで体系的に学び、その集大成として「卒業研究」を行う。					
アドミッションポリシー[3]	・「人間とは何か」を追求する知的な営みとしての人文学に関心がある学生。 ・日本文学、日本語学、歴史・文化、美学・建築文化を通じての人文学の学びに主体的に関わることのできる学生。 ・専門的な知識を獲得し、それらを活用すること、またそれらをもとに新しい文化や時代を創造することに意欲のある学生。					

（※）卒業要件単位数：124 単位（基盤教育科目：28 単位以上、学科科目：68 単位以上、残り 28 単位は自由選択）

＜技能・表現＞ (6) 適切な日本語を運用し、文章および口頭にて自らの考えを円滑に表現することができる。 (7) 演習やフィールドワークを通じて、自分自身で課題を発見し、これを適切な方法で調査・分析・検討したうえで、他者に向けて効果的に発信する ことができる。				＜関心領域および視野の拡大＞ (8) 人間の文化的営みに関しての自己の関心領域、視野を拡大することができる。
専攻科目群				専門関連科目
歴史文化専攻		美学・建築文化専攻		
専門基幹科目	専門展開科目	専門基幹科目	専門基幹科目	
	LH24314 日本文化特殊講義２ ※ LH24313 日本文化特殊講義１ ※ LH24312 日本文化フィールドワーク ※ LH24311 都市景観論 ※ LH24310 生活文化史 ※ LH24309 アジア文化論 LH24308 日本史特殊講義２ LH24307 日本史特殊講義１ LH24306 大阪学 LH24305 畿内・上方文化論 LH24304 グローバルヒストリー LH24303 日本宗教・思想史 LH24302 史料演習 LH24301 日本史料学		LH26306 日本文化特殊講義２ ※ LH26305 日本文化特殊講義１ ※ LH26304 日本文化フィールドワーク ※ LH26303 近代建築史 LH26302 都市景観論 ※ LH26301 生活文化史 ※	LH31307 建築文化論４ LH31306 建築文化論３ LH31305 建築文化論２ LH31304 博物館実習 LH31303 国語科教育論４ LH31302 国語科教育論３ LH31301 日本語教育実習
LH23213 日本文化遺産論 ※ LH23212 西洋文化史２ ※ LH23211 西洋文化史１ ※ LH23210 日本文化史２ ※ LH23209 日本文化史１ ※ LH23208 東洋史概説２ LH23207 東洋史概説１ LH23206 西洋史概説２ LH23205 西洋史概説１ LH23204 日本近現代史 LH23203 日本近世史 LH23202 日本中世史 LH23201 日本古代史	LH24209 自然地理学概説２ LH24208 自然地理学概説１ LH24207 人文地理学概説２ LH24206 人文地理学概説１ LH24205 地誌学２ LH24204 地誌学１ LH24203 ポップカルチャー論 LH24202 メディア文化論 LH24201 古文書学	LH25205 日本文化遺産論 ※ LH25204 西洋文化史２ ※ LH25203 西洋文化史１ ※ LH25202 日本文化史２ ※ LH25201 日本文化史１ ※	LH26203 西洋建築史 LH26202 日本建築史 LH26201 都市文化史	LH31220 社会科・公民科教育論 LH31219 社会科・地理歴史科教育論 LH31218 社会科教育論２（公民分野） LH31217 社会科教育論１（地理歴史分野） LH31216 倫理学概論２ LH31215 倫理学概論１ LH31214 社会学概論２ LH31213 社会学概論１ LH31212 法律学概論２ LH31211 法律学概論１ LH31210 建築文化論１ LH31209 コンピュータデザイン LH31208 言語と心理 LH31207 第二言語習得 LH31206 電子出版 LH31205 国語科教育論２ LH31204 国語科教育論１ LH31203 日本語教育演習 LH31202 日本語教授法 LH31201 日本語教育入門
			LH26103 住宅構法論 LH26102 居住空間史 LH26101 デザイン文化論	LH31110 社会教育概論２ LH31109 社会教育概論１ LH31108 製図基礎 LH31107 博物館情報・メディア論 LH31106 博物館教育論 LH31105 博物館展示論 LH31104 博物館資料保存論 LH31103 博物館資料論 LH31102 博物館経営論 LH31101 博物館概論
※ 歴史文化専攻及び美学・建築文化専攻の、専門基幹科目または専門展開科目である。歴史文化専攻生が履修・修得した場合は、歴史文化専攻の専門基幹科目または専門展開科目として、美学・建築文化専攻生が履修・修得した場合は、美学･建築文化専攻の専門基幹科目または専門展開科目として計上する。なお､日本文学専攻生が履修･修得した場合は、他専攻の専門基幹科目または専門展開科目として計上する。				
自専攻から２６単位以上				
歴史文化専攻の者は 10 単位以上修得すること	歴史文化専攻の者は 16 単位以上修得すること	美学・建築文化専攻の者は 10 単位以上修得すること	美学・建築文化専攻の者は 16 単位以上修得すること	
専門基礎科目群での学びを基礎とした人文学各領域での高度な専門性を習得するために、専門基幹科目群および専門展開科目群を置く。この科目群によって、専門性に裏づけられた実践的な知識を獲得する。				獲得した専門的知識を生かす進路の選択肢を提供すべく、免許・資格のための科目によって構成される専門関連科目群を配置する。

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　国際学部カリキュラムマップ

人材養成目的
国際学部　国際学科
ア　英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国際的諸問題を、グローカルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図り、国際社会に貢献することができる人材を養成する。
イ　国際共通語である英語の高い運用能力を習得し、国際社会や国際事情に関する幅広い知識の理解と様々な物事の見方や分析の仕方及び問題発見や課題解決の方法の習得に加えて、国際的視野や国際感覚を身に付ける。

ディプロマポリシー（再表現）1	1．国際学のための基礎的・応用的な実践的能力	2．国際学的なものの見方・捉え方の基礎		3．基礎を土台とした専門分野の発展的な知識	
	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことができる。	グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。グローバルな場でのコミュニケーション活動において求められる ICT の基礎的なスキルを必要に応じて適切に実践することができる。		修得した分野別の専門的な知識をグローバル社会の実際の場で応用的かつ実践的に用いることができる	
科目区分	専門演習科目 専門研究科目	専門基礎科目	専門関連科目	専門基幹科目	グローバルリベラルアーツ科目群
４年次	WA11403 卒業研究 WA11402 プロジェクト４ WA11401 プロジェクト３				
３年次 または ３年次以上	WA11302 プロジェクト２ WA11301 プロジェクト１	WA21302 English 6（English for Conversation） WA21301 English 5（English for Qualification）			WA31307 国際・地域言語表現論（特殊講義） WA31306 国際・地域交流論（特殊講義） WA31305 国際・地域文化関係論（特殊講義） WA31304 国際・地域言語表現論（展開） WA31303 国際・地域交流論（展開） WA31302 ICT とイノベーション WA31301 多文化マネジメント論
２年次 または ２年次以上	WA11204 自主研究Ⅱ WA11203 自主研究Ⅰ WA11202 Global Studies 4 WA11201 Global Studies 3	WA21204 Advanced English 4（アカデミックライティング演習） WA21203 Advanced English 3（資格英語演習） WA21202 English 4（Speech & Presentation） WA21201 English 3（Communication）	WA22206 情報セキュリティー WA22205 テキスト解析 WA22204 デジタルコンテンツ開発演習 WA22203 データベース演習	WA31209 国際開発支援論Ⅲ WA31208 国際開発支援論Ⅱ WA31207 国際開発支援論Ⅰ WA31206 グローバルビジネス論Ⅲ WA31205 グローバルビジネス論Ⅱ WA31204 グローバルビジネス論Ⅰ WA31203 国際・地域言語表現論（基礎） WA31202 国際・地域交流論（基礎） WA31201 国際・地域文化関係論（基礎）	WA32210 国際・地域文化関係論（展開） WA32209 グローカル論 WA32208 アメリカ歴史・文化講義 WA32207 イギリス歴史・文化講義 WA32206 米文学概論 WA32205 英文学概論 WA32204 英語学概説２ WA32203 英語学概説１ WA32202 英語学概論２ WA32201 英語学概論１
１年次 または １年次以上	WA11104 Global Studies 2 WA11103 Global Studies 1 WA11102 Global Seminar 2 WA11101 Global Seminar 1	WA21104 Advanced English 2（クリティカルシンキング演習） WA21103 Advanced English 1（プレゼンテーション演習） WA21102 English 2（Reading & Writing） WA21101 English 1（Reading & Writing）	WA22102 数理・DS・AI 2 WA22101 数理・DS・AI 1		
必要要件	①専門基礎科目群：専門基礎科目群は、掲げる科目の中から２０単位以上を修得しなければならない。専門基礎科目群は、英語学習の基礎となる科目であるため、学部が履修を指定した時期に単位を修得できていない者は、上位学年の科目の履修ができないことから、履修を指定された学年次に確実に修得することが求められる。 ②専門関連科目群：専門関連科目群は、留学・フィールドワーク科目及び AI & ICT 科目に区分され、留学・フィールドワーク科目は６単位以上（学部が指定した外国人留学生は４単位以上）、AI & ICT 科目は８単位以上を修得しなければならない。 ③専門演習科目群：専門演習科目群は、１８単位以上を修得しなければならない。 ④専門研究科目群：「卒業研究」は、原則として、４年次に全員が履修する科目とする。なお、詳細は国際学科履修細則に定める。			⑤フューチャー＆イノベーションスタディーズ科目群：フューチャー＆イノベーションスタディーズ科目群は、グローバルビジネス科目、国際開発支援科目、グローバル言語科目の３つのコンセントレーションパッケージに区分され、全ての区分において、それぞれに掲げる専門基幹科目から４単位以上、同専門展開科目から２単位以上の合計１８単位以上を修得しなければならない。３つのコンセントレーションパッケージにおいて、理論と実践の往還の科目群を体系的に学び、更に自身の興味・関心に応じて①国際ビジネス、②国際開発支援、③英語プロフェッショナルのいずれかを	
カリキュラムポリシー（再表現）2	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ能動的に導き出すことを目的とする科目群。	グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく修得することを目的とする科目群。	グローバル社会におけるコミュニケーション活動の中で求められる ICT の基礎的なスキルを修得することを目的とする科目群。	グローバル社会を取り巻く国際文化状況の本質を理解する際に必須となる専門的知識を基礎から応用まで修得することを目的とする科目群。	
アドミッションポリシー 3	① 英語をマスターして国際的に活躍したい者 ② グローバルな視野を持ち、そして自分で考え始めることのできる者 ③ 世界と日本の架け橋になりたいと志し、行動する者				

（※）卒業要件単位数：１２４単位（基盤教育科目：２８単位以上、学科科目：７０単位以上、残り２６単位は自由選択）

ウ　卒業後の進路は、高度な英語運用能力と国際社会や国際事情に関する幅広い知識を身に付けて、国内企業はもとより、政府間組織や国際非政府組織などの国際機関をはじめ、外資系企業や多国籍企業などで幅広く活躍することが期待される。

			４．関心領域と視野の拡大		
			海外体験を通して高い英語運用力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらを応用的に活用することができる。		
専門展開科目			免許科目群	留学・フィールドワーク科目群	留学生科目
	フューチャーデザイン＆イノベーションスタディーズ科目群				
	WA33306 グローバル言語特殊講義Ⅳ WA33305 グローバル言語特殊講義Ⅲ WA33305 グローバル言語特殊講義Ⅱ WA33304 グローバル言語特殊講義Ⅰ WA33301 国際開発支援論特殊講義Ⅱ	WA３３302 グローバルビジネス論特殊講義Ⅱ	WA41301（多文化マネジメント論）		WA43302 ビジネス日本語２ WA43301 ビジネス日本語１
	WA33302 国際開発支援論特殊講義Ⅰ WA33201 国際開発支援論Ⅳ	WA33204 グローバルビジネス論特殊講義Ⅰ WA33203 グローバルビジネス論Ⅳ	WA41212（アメリカ歴史・文化講義） WA41211（イギリス歴史・文化講義） WA41210（国際・地域文化関係論（展開）） WA41209（グローカル論） WA41208（米文学概論） WA41207（英文学概論） WA41206（英語学概説２） WA41205（英語学概説１） WA41204（英語学概論２） WA41203（英語学概論１） WA41202（国際・地域文化関係論（基礎）） WA41201（English 3（Communication））	WA42202 国際体験Ⅲ WA42201 国際体験Ⅱ	
			WA41102（English 2（Reading & Writing） WA41101（English 1（Reading & Writing））	WA42103 国際体験Ⅰ WA42102 留学特別演習２ WA42101 留学特別演習１	WA43102 日本語演習２ WA43101 日本語演習１
自主研究やフィールドワークを履修し、より深化させていく。 ⑥グローバルリベラルアーツ科目群：グローバルリベラルアーツ科目群は、専門基幹科目、専門展開科目、特殊講義科目、関連科目の４つに区分され、各区分から所定の単位数として 専門基幹科目から４単位以上、専門展開科目から４単位以上、特殊講義科目から８単位以上、関連科目から８単位以上の合計２４単位以上を修得しなければならない。			⑦英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通してグローバル社会に対する理解を深める、英語の教員免許状取得に必要な「免許科目群」を置く。	⑧留学・フィールドワーク科目は、原則として、学部が履修する学年次及び対象者、科目並びにクラスを指定する。	
			英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通してグローバル社会に対する理解を深める、英語の教員免許状取得に必要な科目群。	海外体験を通して、英語（外国人留学生の場合は日本語）を使用したコミュニケーション活動の実践・異文化理解・自国文化理解を促すことを目的とする科目群。	

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　心理学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	幅広い教養的基礎のうえに、多様かつ実践的な心理学的知識や情報科学に関する知識を獲得することで、心理学や情報科学の知識及び方法を様々な職業や実生活に生かし、自己実現をめざす豊かな人間性を持つ人材の育成を目的とする。					
ディプロマポリシー[1]	1 心理学の知識を応用できる実践的能力		2 心理学的な学修の基礎			
	【実践的能力の養成】多様な考え方を受容し、心理学を学ぶことによって培われた「思考力」、「想像力」、「分析力」等を用いて、社会や個人の抱えるさまざまな課題に自律的に取り組み、それらに対して客観的かつ論理的に対処する能力を涵養する。		【心理学の基礎的知識の修得】心理学を学ぶために必要な基礎的知識ならびに研究法を修得することで、客観的な視点から人間の行動や心を考察し、科学的かつ批判的な思考を行うことができる能力を身につける。			
科目区分	主体的研究科目群	学部共通科目群				
	研究・論文	実践演習	総合・一般心理学科目	研究法・実習科目	認知・脳科学系	発達・教育心理学系
4年次	PP11403 卒業論文 PP11402 卒業研究2 PP11401 卒業研究1	PP12403 心理実習2 PP12402 心理実習1 PP12401 心理演習				
3年次 または 3年次以上	PP11302 特別演習2 PP11301 特別演習1	PP12304 メンタルケア演習 PP12303 チャイルドサポート演習 PP12302 ビジネスリサーチ演習 PP12301 リサーチャー演習	PP21302 心理学の歴史 PP21301 関係行政論		PP31305 認知神経科学特講 PP31304 認知心理学特講 PP31303 認知神経心理学 PP31302 感情心理学 PP31301 社会認知神経科学	PP32305 生涯発達心理学特講 PP32304 生涯教育心理学特講 PP32303 学習・言語心理学 PP32302 教育・学校心理学 PP32301 実験発達心理学
2年次 または 2年次以上		PP12201 ライフスタイル演習	PP21205 心理学総合科目 PP21204 倫理学概論2 PP21203 倫理学概論1 PP21202 社会学概論2 PP21201 社会学概論1	PP22208 心理学的データ解析 PP22207 心理学研究法 PP22206 心理的アセスメント PP22205 心理調査法実習 PP22204 心理検査実習2 PP22203 心理検査実習1 PP22202 心理面接実習2 PP22201 心理面接実習1	PP31204 認知神経心理学演習 PP31203 知覚・認知心理学 PP31202 認知心理学 PP31201 神経・生理心理学	PP32207 行動論演習 PP32206 発達心理学 PP32205 教育心理学 PP32204 子ども学 PP32203 カウンセリング心理学 PP32202 家族心理学 PP32201 比較心理学
1年次 または 1年次以上		PP12101 心理学入門演習	PP21103 心理学概論2 PP21102 心理学概論1 PP21101 公認心理師の職責	PP22103 心理学統計法2 PP22102 心理学統計法1 PP22101 心理学実験	PP31101 認知・脳科学概論	PP32101 生涯発達・生涯教育心理学概論
カリキュラムポリシー[2]	獲得した知識をもとに自主的に問題を発見する力、必要な資料を収集する力、適切な方法を用いて研究を行う力、さらに得られた資料をもとに論理的に思考する力やそれらを論文にまとめる力など、総合的な能力を養う。	実社会で使える心理学の知識を取得し、また、それらを実践的に応用するための能力を育てる。	心理学をより深く学ぶために必要な基礎的知識を修得する。また、心理学的な実験や調査を通じて、心理学の基礎的な方法論やスキルを問題設定に合わせて臨機応変に使用できる能力を養う。		脳と心の関係について実験的に検討し、認知・脳神経科学に関する専門知識を獲得して、科学的思考力を養成する。	人間の発達や教育的関係にかかわる理論や研究法を専門的に学ぶ。学んだ内容を社会で生かし、生涯発達や生涯学習を支援できるための力を、地域の保育所や学校など、福祉・教育施設と連携して実施する実践プログラムを通して養う。
アドミッションポリシー[3]	（1）人間の心や行動に対する幅広い関心と探求心を持っている。 （2）自分や他者の心に向き合い、他者とのつながりの中でお互いが心豊かに生きるための知識・技能を学ぼうとする意欲がある。 （3）最初は難しくても理解できるまで努力する粘り強さを持っている。 （4）卒業後は学んだことを生かして社会に貢献しようと考えている。					

（※）卒業要件単位数：124 単位（基盤教育科目：28 単位以上、学科科目：74 単位以上、残り 22 単位は自由選択）

３各専門分野における深い知識			４関心領域および視野の拡大	
【各専門領域の知識の獲得】心理学や情報科学の各専門領域の知識と技術を学ぶことで身につけた、心理学的、情報科学的なものの見方や考え方を実社会に応用し、さまざまな価値観を有する個人や集団と柔軟かつ生産的な関係性を構築するための力を身につける。			【より専門性の高い学習のための基礎能力の養成と近接領域の知識の獲得】心理学と関連性の深い他領域の知識を積極的に学ぶとともに、より専門性の高い学習を行うための基礎となる知識や語学力を身につける。	
専攻科目群			発展科目群	
臨床心理学系	社会・犯罪心理学系	人工知能・認知科学系	外書講読	関連科目・留学
PP33309 上級査定法演習２ PP33308 上級査定法演習１ PP33307 心理療法演習７ PP33306 心理療法演習６ PP33305 心理療法演習５ PP33304 心理療法演習４ PP33303 心理療法演習３ PP33302 心理療法演習２ PP33301 心理療法演習１	PP34302 犯罪心理学特講 PP34301 社会心理学特講	PP35307 応用プログラミング演習２ PP35306 応用プログラミング演習１ PP35305 情報セキュリティ入門 PP35304 身体制御システム論 PP35303 コンピュータ・グラフィクス基礎 PP35302 パターン認識概論 PP35301 自然言語処理応用	PP41305 認知心理学講読 PP41304 生涯教育心理学講読 PP41303 発達心理学講読 PP41302 社会心理学講読 PP41301 臨床心理学講読	
PP33212 心理学的支援法 PP33211 感情・人格心理学 PP33210 精神分析学 PP33209 精神疾患とその治療 PP33208 人体の構造と機能及び疾病 PP33207 司法臨床心理学 PP33206 障害者・障害児心理学 PP33205 医療臨床心理学 PP33204 福祉心理学 PP33203 遊戯療法論 PP33202 認知行動療法論 PP33201 健康・医療心理学	PP34205 社会・集団・家族心理学 PP34204 社会心理学 PP34203 司法・犯罪心理学 PP34202 対人行動論 PP34201 産業・組織心理学	PP35220 システム解析入門 PP35219 メディアインタフェース PP35218 計算機アーキテクチャ PP35217 信号解析 PP35216 認知計算論 PP35215 人間の思考と人工知能 PP35214 思考・発見過程分析 PP35213 クラウドソーシング活用法 PP35212 認知科学基礎 PP35211 データ情報学概論 PP35210 学習アルゴリズム演習 PP35209 学習アルゴリズム PP35208 データマイニング概論 PP35207 音声認識 PP35206 自然言語解析 PP35205 データサイエンス演習２ PP35204 データサイエンス演習１ PP35203 統計数学 PP35202 科学技術と産業倫理概論 PP35201 メディア概論	PP41201 中級心理学外書講読	PP42209 法律学概論２ PP42208 法律学概論１ PP42207 文化人類学 PP42206 社会福祉概論２ PP42205 社会福祉概論１ PP42204 国際コミュニケーション論 PP42203 国際特別演習 PP42202 国際事情 PP42201 国際表現演習
PP33101 臨床心理学概論	PP34101 社会・犯罪心理学概論	PP35109 科学技術プログラミング演習２ PP35108 科学技術プログラミング演習１ PP35107 情報リテラシー PP35106 基礎数学２ PP35105 基礎数学１ PP35104 画像・映像処理概論 PP35103 自然言語処理概論 PP35102 人工知能・認知科学概論２ PP35101 人工知能・認知科学概論１	PP41101 初級心理学外書講読	
心理学や情報科学の基礎知識を幅広く習得し、その知識を高い教養的知識として実社会に活かし、生活を豊かにする。各専攻領域を学ぶことで、人の興味・関心の理解に基づいて、さまざまな視点からものごとを考える力を養う。			心理学に関するより深い知識を獲得するとともに大学院への進学を見据え、英語文献や英語論文を読みこなす力を養う。	心理学と関連性の深い、その他近接領域に関する知識を獲得し、他領域との比較を通して、心理学の基本的な考え方やその方法論について理解できる力を養う。
心理的援助が必要とされる対象の心理社会的側面を多面的にアセスメントできる複数の視点や知識を獲得する。また、演習を通してそのような対象を援助する際に必要となる対人スキルや介入技法を実践的に学び、社会で活用できる対人援助スキルを養う。	個人と集団や社会との関連、対人関係における人の心理、犯罪に影響を及ぼす要因や防犯に対する意識について学びながら、社会において有用となる知識やスキルの養成を行う。	情報科学と認知科学の両方の知識をバランスよく学習し、AI 開発に必要な実践的なスキルを養成するとともに、優れた AI について考えることができる思考力を 養成する。		

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　社会学部カリキュラムマップ

人材養成目的
（1）社会のなりたち、しくみ、解決が求められる諸問題などを明らかにできる人材を養成する。
（2）自分自身が将来にわたって職業人として、そして家庭人、社会人として幸せな生活を築いていくための知識やスキルを身につけた人材を養成する。

ディプロマポリシー 1	社会に生起する出来事を観察してそこから課題を見出し、社会学の知見を生かして考察して自分なりの解決策や企画を提示することができる。		社会学的な見方によって社会全般および身近な組織や地域を理解し、それを踏まえて自分の役割を考えることができる。				社会学の理論や方法を用いて具体的な社会事象や人間関係を把握し、そこから自分の考えなどを言語表現、身体表現を通じて的確に伝え、よりよい社会関係を構築することができる。					
科目区分	主体的研究科目群 (1)		学部共通科目群 (2)				専攻科目群 (3)					
							社会学専攻					
	ナンバリング	演習科目 (1-1)	ナンバリング	学部コア科目 (2-1)	ナンバリング	学部教養科目 (2-2)	ナンバリング	現代社会学コース (3-1)	ナンバリング	社会文化デザインコース (3-2)	ナンバリング	社会問題コース (3-3)
4年次	FS11403	卒業論文・卒業研究										
	FS11402	卒論演習2										
	FS11401	卒論演習1										
3年次または3年次以上									FS32307	コミュニケーション表現特論		
							FS31306	ダイバーシティーの社会学	FS32306	アート環境創造特論		
							FS31305	比較文化論	FS32305	演劇・ダンス演習		
							FS31304	現代社会特論	FS32304	メディア文化構想特論		
							FS31303	環境社会学	FS32303	広告の社会学	FS33303	犯罪社会学
	FS11302	専門演習2			FS22302	社会調査演習2	FS31302	現代社会論	FS32302	サブカルチャー特論	FS33302	ジェンダーの社会学
	FS11301	専門演習1			FS22301	社会調査演習1	FS31301	リスク社会論	FS32301	現代文化論	FS33301	医療社会学
2年次または2年次以上									FS32213	社会文化デザイン特殊講義2	FS33213	社会問題特殊講義2
					FS22212	多変量解析法			FS32212	社会文化デザイン特殊講義1	FS33212	社会問題特殊講義1
					FS22211	文化人類学			FS32211	社会文化デザイン演習2	FS33211	社会問題特論2
					FS22210	社会福祉概論2			FS32210	社会文化デザイン演習1	FS33210	社会問題特論1
					FS22209	社会福祉概論1	FS31209	現代社会学特殊講義2	FS32209	コミュニケーション・表現演習2	FS33209	現代社会リサーチ演習2
					FS22208	哲学概論2	FS31208	現代社会学特殊講義1	FS32208	コミュニケーション・表現演習1	FS33208	現代社会リサーチ演習1
			FS21207	社会学理論	FS22207	哲学概論1	FS31207	現代社会論演習2	FS32207	演劇論	FS33207	社会階層論
			FS21206	社会学史	FS22206	法律学概論2	FS31206	現代社会論演習1	FS32206	身体表現論	FS33206	都市社会論
			FS21205	グローバル社会論	FS22205	法律学概論1	FS31205	コミュニケーションの社会学	FS32205	人間関係論	FS33205	社会問題論
			FS21204	情報社会学	FS22204	社会学概論2	FS31204	食と農の社会学	FS32204	芸能文化論	FS33204	家族問題論
			FS21203	マスコミ論	FS22203	社会学概論1	FS31203	消費社会論	FS32203	芸術社会論	FS33203	福祉社会学
	FS11202	基礎演習2	FS21202	現代メディア論	FS22202	質的調査法	FS31202	科学技術論	FS32202	文化社会学	FS33202	病いの社会学
	FS11201	基礎演習1	FS21201	社会調査法	FS22201	量的調査法	FS31201	流行の社会学	FS32201	サブカルチャー論	FS33201	人権問題論
1年次または1年次以上			FS21105	データ分析基礎								
			FS21104	社会調査基礎								
			FS21103	社会問題基礎								
	FS11102	社会学入門演習2	FS21102	社会文化デザイン基礎					FS32102	コミュニケーション・表現入門演習2		
	FS11101	社会学入門演習1	FS21101	現代社会学基礎					FS32101	コミュニケーション・表現入門演習1		
卒業要件	18単位 ※社会学入門演習1・2は選択科目		52単位以上 ※社会学専攻の学生は、学部共通科目群および専攻科目群の社会学専攻から40単位を修得すること。スポーツ文化学専攻の学生は、学部共通科目群および専攻科目群の社会学専攻から30単位、スポーツ文化学専攻から22単位を修得すること。									
カリキュラムポリシー 2	社会における多様な問題群に関する知識を得ると共に、それを自分なりに消化し、解決に向けた方策を筋道立てて考察できるようになるための素材と訓練を課すための科目		社会学の基本的な知識や分析用具を身につけ、使えるようにするための体系的知識の習得と訓練を課すための科目		社会学の隣接領域の知識を得ながら、社会の多様なあり方を包括的に考察することができるようにするための科目		【講義】 2年次までに身につける知識や考え方を踏まえ、各プログラムにおける基礎的な知識を身につけ、それをもとに専門的知識を一般社会において活用できるよう訓練を課すための科目					
アドミッションポリシー 3	1. 大学の学びに必要な基礎学力としての知識や能力がある（知識・理解） 2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる（思考・判断） 3. 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる（表現） 4. 社会、人間、スポーツ、文化、環境などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある（関心・意欲） 5. 積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度がある（態度）											

（※）卒業要件単位数：124 単位（基盤教育科目：28 単位以上、学科科目：70 単位以上、残り 26 単位は自由選択）

												社会学的な見方や考え方をより広い分野で応用するための知的な蓄積を持つことができる。
										関連科目群 (4)		
	スポーツ文化学専攻											
	ナンバリング	コース共通 (3-4)	ナンバリング	スポーツ文化デザインコース (3-5)	ナンバリング	地域・健康スポーツコース (3-6)	ナンバリング	スポーツキャリアコース (3-7)	ナンバリング	国際科目 (4-1)	ナンバリング	関連科目 (4-2)
			FS35302	グローバルスポーツ論	FS36302	身体機能測定評価演習						
			FS35301	スポーツ文化論	FS36301	健康運動プログラム演習	FS37301	スポーツフィールド実習				
											FS42213	教育心理学
											FS42212	地誌学2
											FS42211	地誌学1
											FS42210	自然地理学概説2
											FS42209	自然地理学概説1
											FS42208	人文地理学概説2
											FS42207	人文地理学概説1
											FS42206	東洋史概説2
			FS35205	スポーツ戦略論	FS36205	現代社会とスポーツ医学	FS37205	発育発達論			FS42205	東洋史概説1
			FS35204	スポーツ教育学	FS36204	地域社会とスポーツ	FS37204	スポーツ情報戦略論	FS41204	国際表現演習	FS42204	西洋史概説2
			FS35203	スポーツ社会学	FS36203	学校社会・健康スポーツ論	FS37203	スポーツ心理学	FS41203	国際事情	FS42203	西洋史概説1
			FS35202	スポーツ産業論	FS36202	健康スポーツの生理学	FS37202	スポーツ情報学	FS41202	国際特別演習	FS42202	日本史概説2
			FS35201	スポーツ都市文化論	FS36201	身体運動行為論	FS37201	コーチング論	FS41201	国際コミュニケーション論	FS42201	日本史概説1
	FS34102	スポーツ文化概論2										
	FS34101	スポーツ文化概論1										
【演習】 2年次までに身につける知識や考え方、および、各プログラムにおける基礎的な知識を踏まえ、それを自分自身の課題に引きつけて活用し、ひとまとまりの考察や作品として提示することができるよう訓練を課すための科目												専門科目における学びを踏まえ、卒業後の自身の進路を念頭に置いて、必要と見込まれる知識や考え方を身につけ、社会生活における専門知識の活用へとつなげられるよう訓練を課すための科目

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　経済学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	7つのコースを通じて、幅広い教養とともに、進路に直結した経済学の分野を系統的に学修する。 商都大阪の歴史ある教育環境の下、規範と責任をもって社会や地域の担い手となる独立自彊・社会有為の人材育成を目指す。						
ディプロマポリシー 1	経済学部では、次の4項目にわたる力を学び取り、所定の単位を修得した学生に学位（学士（経済学））を授与する。						
	(1) 独立自彊の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに邁進できる。	(2) 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得し、駆使できる。	(3) 経済全般並びに商都大阪をはじめ、永く関わる社会事象に関する専門知識を吸収して、活用できる。			(4) 変化する社会経済に向けて、学識を基にした先取的な提案を行い、実践する力を発揮できる。	
科目区分	必修科目	選択必修科目					
		学部共通科目	学部共通科目以外				
			歴史・くらし、社会科学各論			公共経済コース	金融経済コース
4年次	EE10401 専門演習Ⅳ	EE20401 論文演習					
3年次 または 3年次以上	EE10302 専門演習Ⅲ EE10301 専門演習Ⅱ		EE30305 日本経済演習 EE30301 計量経済学	EE30306 労働法制の経済学 EE30302 応用ミクロ経済学	EE30303 経済変動論	EE30304 行動経済学	EE32301 ファイナンス演習
2年次 または 2年次以上	EE10202 専門演習Ⅰ EE10201 コース演習	EE20202 マクロ経済学 EE20201 ミクロ経済学	EE30225 経済理論・経済史特殊講義 EE30221 労働経済学1 EE30217 国際経済学 EE30213 法学・政治学特殊講義 EE30209 アジア経済論 EE30205 資産管理 EE30201 統計学演習	EE30226 外国経済特殊講義 EE30222 労働経済学2 EE30218 オーストラリア経済論 EEE30214 情報分析 EE30210 民法入門 EE30206 関西経済 EE30202 ミクロ経済学演習	EE30227 人的資源特殊講義 EE30223 テレワークと経済 EE30219 産業組織論 EE30215 金融論 EE30211 政治学概論1 EE30207 日本経済 EE30203 マクロ経済学演習	EE30224 ビジネス・エコノミクス EE30220 産業組織論演習 EE30216 SDGs と経済 EE30212 政治学概論2 EE30208 地方財政 EE30204 企業会計原則	EE31203 財政学 EE31202 行政法 EE31201 経済政策総論	EE32205 ファイナンス EE32204 国際金融論2 EE32203 国際金融論1 EE32202 金融ビジネス論 EE32201 リスクと向き合う経済学
1年次 または 1年次以上	EE10101 初級演習	EE20105 マクロ経済学入門 EE20104 ミクロ経済学入門 EE20103 経済数学入門 EE20102 統計学総論 EE20101 実践基礎経済学	EE30105 租税論 EE30101 日本経済史	EE30106 企業財務入門 EE30102 グローバルヒストリー	EE30103 地域とくらし	EE30104 社会とくらし	
卒業要件（※）	12 単位	10 単位以上	48 単位以上				
		68 単位以上					
カリキュラムポリシー 2	ディプロマポリシーの学修要件を充足できるように、教育課程を次のとおり編成する。 (1) 基盤教育科目を初年次中心に 28 単位以上修得し、かつ、経済学部の学科科目を 68 単位以上修得して、合計で 124 単位以上修得することを課す。社会からの要請に応えて、授業科目以外の学習機会を広げ、ディプロマポリシーの実効性を確保するカリキュラムとなるように、継続的に取り組む。						
	(2) 少人数の演習系科目として、1年次の「初級演習」、2年次の「コース演習」「専門演習Ⅰ」、3年次の「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」、4年次の「専門演習Ⅳ」の合計12単位を必修とする。	(3) 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得できるように、学部共通科目を設置し、そのうち10単位以上の修得を卒業要件とする。学部共通科目として、1年次に「実践基礎経済学」を、4年次に「論文演習」を提供する。	(4) 専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践する力を発揮できるように、学部共通科目以外の選択必修科目を設置する。2年次には7つのコース分野に分かれて専門学習に集中できるように、コース毎の基幹的な選択必修科目を履修するカリキュラムとする。3年次、4年次には、専門的な学識を基に社会に向けて実践・応用することに主眼を置く選択必修科目を提供する。				
アドミッションポリシー 3	(1) 政治・経済・社会問題に対して知的好奇心と、自主的・積極的に問題解決に取り組もうとする強い意志 (2) 豊かな構想力と人間性を身につけるために、経済学を中心に幅広い分野の学問を積極的に学ぶ意欲と能力 (3) 経済学に関する専門知識を活用して、経済・産業界のリーダーとして活躍しようとする意欲						

（※）卒業要件単位数：124 単位（基盤教育科目：28 単位以上、学科科目：68 単位以上、残り 28 単位は自由選択）

							選択科目		
							発展科目群		
環境経済コース	消費経済コース	生活経済コース	多様社会コース	国際メディアコース	OE50 特別プログラム		教員免許		グローバルキャリア科目
EE33301 地球環境論演習					EE39302 キャリアシミュレーション（応用） EE39301 キャリアシミュレーション（基礎）				
EE33205 公共政策演習	EE34205 消費者保護論		EE36205 多様社会特殊講義				EE40213 地誌学２ EE40211 自然地理学概説２ EE40209 人文地理学概説２	EE40212 地誌学１ EE40210 自然地理学概説１	
EE33204 地球環境概論 EE33203 公共政策 EE33202 環境経済学２ EE33201 環境経済学１	EE34204 消費データ分析 EE34203 マーケティング EE34202 消費経済論２ EE34201 消費経済論１	EE35203 社会保障 EE35202 生活経済論２ EE35201 生活経済論１	EE36204 ジェンダー論 EE36203 男女共同参画社会論 EE36202 女性起業論 EE36201 少子高齢化社会論	EE37204 国際ビジネスコミュニケーション EE37203 ヨーロッパ経済論 EE37202 アメリカ経済論 EE37201 国際メディア論	EE39204 ビジネスリテラシー（応用） EE39203 ビジネスリテラシー（基礎） EE39202 ビジネス数理スキル（応用） EE39201 ビジネス数理スキル（基礎）		EE40207 職業指導論 EE40205 東洋史概説１ EE40203 西洋史概説１ EE40201 日本史概説１	EE40208 人文地理学概説１ EE40206 東洋史概説２ EE40204 西洋史概説２ EE40202 日本史概説２	EE40217 国際表現演習 EE40216 国際特別演習 EE40215 国際事情 EE40214 国際コミュニケーション論

	(5) 社会事象に関する専門知識を吸収して、積極的に活用できるように、競争選抜型の選択必修科目（OE50 特別プログラムと称する。）を２年次、３年次に提供する。

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　経営学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	経営および関連領域に関する知識の獲得と実践的な経験を通じて、企業などの組織に関するさまざまな活動に応用できる能力を身につけた社会的責任感のある学生を養成する				
ディプロマポリシー[1]	1．経営学の知識を応用できる実践的能力 【実践的能力の涵養】 企業などの組織が直面する問題を体験的かつ協働的に学び、学修した理論や知見をビジネスの場面で活かすための力を身につける		2．経営学のコアとなる知識 【基幹理論の学修】 経営学および関連領域の基幹理論を学び、企業などの組織に関する現代的な問題を捉える検証力を身につける		3．各専門分野における深い知識 【専門性の涵養】 企業などの組織の問題を解決するために必要な専門的知識
科目区分（大区分）	主体的研究科目群		学部共通科目群		
科目区分（中区分）	必修・全履科目（演習）	選択科目	必修科目	学部共通科目	経営学関連
4年次	MM11402　卒業演習2 MM11401　卒業演習1				
3年次 または 3年次以上	MM11302　発展演習2 MM11301　発展演習1				MM31308　経営史 MM31307　ビッグビジネス論 MM31306　CSR経営論 MM31305　多国籍企業論 MM31304　ベンチャー企業論 MM31303　中小企業論 MM31302　現代企業論 MM31301　経営行動論
2年次 または 2年次以上	MM11202　基礎演習2 MM11201　基礎演習1	MM13201　経営学プロジェクト MM12204　国際表現演習 MM12203　国際特別演習 MM12202　国際事情 MM12201　国際コミュニケーション論		MM22208　哲学基礎 MM22207　法律学基礎 MM22206　経済学基礎 MM22205　経営情報論 MM22204　経営における心理学 MM22203　民法（総則） MM22202　初級会計学原理 MM22201　マーケティング論基礎	MM31211　経営倫理 MM31210　国際経営論 MM31209　財務管理論 MM31208　ファイナンス論 MM31207　オペレーションズマネジメント MM31206　生産管理論 MM31205　人事労務管理論 MM31204　人的資源管理論 MM31203　経営組織論 MM31202　経営戦略論 MM31201　経営管理論
1年次 または 1年次以上	MM11102　入門演習2 MM11101　入門演習1		MM21102　経営学への招待Ⅱ MM21101　経営学への招待Ⅰ		
卒業要件（※）	12単位	-	8単位	8単位以上	
カリキュラムポリシー[2]	主体的研究科目群では、少人数による実践的な学習活動を主体的に行う。 専門教育で得た知識や理論を具体的な問題に対して適用したり応用したりする活動を通して、 経営学および関連学問領域の理解を体験的に深める。 ただし、入門演習は、こうした活動を行うための導入科目であり、 プレゼンテーションやディスカッションの基礎スキルを具体的な課題を通して身につける。		学部共通科目群では、経営学および関連学問領域の基幹的理論の修得を行う。 特に、「経営学への招待Ⅰ」と「経営学への招待Ⅱ」は、経営学・マーケティング・会計学・法学・心理学・経営情報学に関する入門的な内容を扱う。		専攻科目群では、経営学および関連学問領域の主だった理論や、それらの修得に必要な知識や手法に関して学ぶ。 企業のマネジメントやマーケティングの実施に必要な、情報を把握、整理し、鍵となる要因を見出す力を、時には実践的な学びも通じて身につけることができるようにする。 そのために、各領域で以下のようなポリシーで科目を配置している。
アドミッションポリシー[3]	（1）ビジネスおよびビジネスに関わる内容に関心がある （2）自分の意見や体験を適切な表現で表明できる （3）物事を論理的・数量的に考えることができる （4）これまでの活動成果を大学での学びに活かそうとする意欲がある				

（※）卒業要件単位数：124単位（基盤教育科目：28単位以上、学科科目：78単位以上、残り18単位は自由選択）

や理論を学び、組織の発展や改善に活かすことができる力を身につける

専門科目群					
経営・マーケティング専攻科目		法務専攻科目	ビジネス心理専攻科目	情報システム専攻科目	
マーケティング関連	会計学関連				
				MM36309 情報と職業	
		MM34308 労働関連法		MM36308 マルチメディア	
		MM34307 金融法		MM36307 デジタルマネジメント	
		MM34306 税法各論	MM35306 広告心理学	MM36306 インターネットビジネス	
MM32305 インターネットマーケティング	MM33305 国際会計論	MM34305 税法総論	MM35305 感性・デザイン心理学	MM36305 機械学習	
MM32304 インターネットマーケティング基礎	MM33304 監査論	MM34304 国際法	MM35304 組織心理学	MM36304 アルゴリズムとデータ構造演習	
MM32303 消費者行動論	MM33303 経営分析論	MM34303 手形・小切手法	MM35303 コミュニティ心理学	MM36303 アルゴリズムとデータ構造	
MM32302 マーケティングリサーチ	MM33302 コスト・マネジメント論	MM34302 会社法	MM35302 心理統計学	MM36302 オペレーションズ・リサーチ	
MM32301 サービスマーケティング論	MM33301 財務諸表論	MM34301 企業法務	MM35301 ビジネス心理実習	MM36301 オペレーションズ・リサーチ基礎	
				MM36211 データベース	
				MM36210 コンピュータネットワーク	
		MM34209 刑法		MM36209 経営情報システム	
		MM34208 行政法		MM36208 プログラミング演習	
		MM34207 社会保障法		MM36207 プログラミング基礎	
	MM33206 管理会計論	MM34206 知的財産法		MM36206 情報科学	
	MM33205 原価計算論	MM34205 会社法基礎	MM35205 ビジネスの社会心理学	MM36205 情報科学基礎	
	MM33204 工業簿記	MM34204 商法	MM35204 コミュニケーションの心理学	MM36204 情報統計学	
MM32203 流通システム	MM33203 中級会計学原理	MM34203 民法(債権法各論)	MM35203 心理統計学基礎	MM36203 情報統計学基礎	
MM32202 流通システム基礎	MM33202 中級簿記	MM34202 民法(債権法総論)	MM35202 心理データ解析	MM36202 情報数学	
MM32201 マーケティング論	MM33201 初級簿記	MM34201 民法(物権法)	MM35201 心理データ解析基礎	MM36201 情報数学基礎	
	MM33103 工業簿記演習			MM36103 プログラミング入門	
	MM33102 商業簿記演習		MM35102 社会調査法2	MM36102 統計学基礎	
	MM33101 初級簿記演習		MM35101 社会調査法1	MM36101 数学基礎	

自専攻から18単位以上

必要に応じて主体的な学びを取り入れ、経営の現場で必要な知識を体験的に学ぶことも取り入れている。
科目名に「基礎」と付くものは学習順序が指定されており、基礎の履修が終わってから、もう一方の履修を進める必要がある。
初級簿記演習・商業簿記演習・工業簿記演習は、高等学校において全商簿記2級や全経簿記2級の知識を修得した学生がより早く日商簿記検定3級・2級の修得を目指せるよう、1年次配当とする。

1．経営学領域では、企業をはじめとする組織の運営に必要な、経営資源の最適配分に関する知識を身につけるため、人的資源管理論、経営組織論、生産管理論、財務管理論などを学ぶ。また、経営戦略論、国際経営論、CSR 経営論などの学習を通じて、競合他社をはじめとする経営環境との関係などに関する知見を習得する。 2．マーケティング領域では、消費者に商品･サービスを効果的、かつ効率的に届けるためのアイデアとそれを実現するための知識を身につけることをめざし、マーケティング、流通システム、消費者行動などについて学習する。 3．会計学領域では、企業の財務・経理部門を担うことができる知識の習得をめざして、財務諸表論、原価計算、管理会計、監査論などを学ぶ。また、資格取得も視野に入れ、各種簿記科目を習得する。		公務員試験や宅建士などの資格試験の基礎となる知識を習得することを目的とし、民法（総則・物権・債権）などを学ぶ。 また、実社会で役立つことを目的として税法、会社法、企業法務などを学ぶ。	消費者行動の予測や商品開発などのビジネスの現場で必要とされる、心理学の知識や社会調査などの方法論を学び、それらを応用する力を、ビジネス心理実習での実践的な学びを通じて身につける。	情報処理やプログラミング、経営統計学やオペレーションズ・リサーチなど経営分析に必要な基礎知識を学び、ネットワークやマルチメディア、データ・サイエンスやシステムズ・アプローチなどビジネスの問題解決に必要な方法論について理解を深めていく。

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学　地域創造学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成する。							
ディプロマポリシー1	1．地域創造のための基礎的・汎用的な実践的能力 ・地域社会を革新、発展させるために「幅広い専門知識」「基礎的・汎用的能力」「具体的な実践活動」の三要素が必要であることを理解している。 ・地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる。 ・地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて効果的に発信することができる。		2．専門学修のコアとなる知識および学際的なものの見方・捉え方 ・地域という「生活空間」に関係する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識と技能を修得している。 ・地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけている。					
科目区分（大分類）	主体的研究科目群		学部共通科目群					
科目区分（中分類）	実践演習科目群		学部コア科目群		技能系・実習系科目群		地域政策コース科目群	
	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名
４年次	JJ11403 JJ11402 JJ11401	卒業研究 地域創造実践演習（総括） 地域創造実践演習（発展）						
３年次 または ３年次以上	JJ11302 JJ11301	地域創造実践演習（展開）２ 地域創造実践演習（展開）１						
２年次 または ２年次以上	JJ11202 JJ11201	地域創造実践演習（基礎）２ 地域創造実践演習（基礎）１	JJ21210 JJ21209 JJ21208 JJ21207 JJ21206 JJ21205 JJ21204 JJ21203 JJ21202 JJ21201	法律学概論２ 法律学概論１ 人文地理学概説２ 人文地理学概説１ 文化人類学 社会学概論２ 社会学概論１ グローバル社会論 現代社会論 地域文化史研究			JJ31241 JJ31227 JJ31226 JJ31225 JJ31224 JJ31223 JJ31222 JJ31221 JJ31205 JJ31204 JJ31203 JJ31202 JJ31201	【演習】 産業・企業演習 【応用科目群】 ソーシャルビジネス論 地域経営論 地域開発論 都市政策論 住民参加論 公共政策論 自治体政策論 【基礎科目群】 地域産業論 地域経済論 地方自治論 地域政策論２ 地域政策論１
１年次 または １年次以上	JJ11102 JJ11101	地域創造実践演習（入門）２ 地域創造実践演習（入門）１	JJ21111 JJ21110 JJ21109 JJ21108 JJ21107 JJ21106 JJ21105 JJ21104 JJ21103 JJ21102 JJ21101	地域づくりと環境 地域づくりと障害者 地域コミュニティ論 少子高齢化社会論 男女共同参画社会論 北摂学 会計学基礎論 マネジメント基礎論 経済学基礎論 地域調査法 地域創造学概論	JJ22103 JJ22102 JJ22101	GIS 実習 質的調査法 データ分析の基礎		
卒業要件	２０単位（演習：１６単位＋卒業研究：４単位）		１０単位以上					
カリキュラムポリシー2	・地域創造に関して学修した知識・技能・態度などを実際に活用させ、実践結果をもとに、不足している知識・技能・態度やより高次の知識・技能・態度を修得する必要性を自覚し、学びの深化や拡大につなげるための科目を配置する。 ・実践的な演習・実習系科目と専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行うことができる科目を配置する。 ・学びの集大成として、４年間で学修した理論や知識と実践を統合させた「卒業研究」を行い、その成果を発表することを求める。		・学際的な学問である「地域創造学」の基礎となる知識をバランスよく理解し、幅広い教養と調査・分析のための技能を身につけるための科目を配置する。 ・本学で扱う「地域創造学」は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の視点を核としているため、それぞれの概略を理解するための科目として、「地域創造学概論」を配置し、その履修を求める。					
アドミッションポリシー3	地域創造学部は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成することを目的としています。 この目的を実現するために、地域創造学部では、以下に示す関心や意欲、幅広い基礎知識をもっている者を求めます。 (1) 主体性をもって地域の様々な人や団体と連携・協働し、地域・社会に新たな価値を創造することや、より豊かな地域・社会を形成すること、持続可能な社会の創造に高い関心をもっている。 (2) 家族や学校、近隣地域など自身が所属する社会（コミュニティ）において、政治・経済・行政・文化・福祉など日常的に展開される諸活動や社会（コミュニティ）を取り巻く問題・課題を考えることに高い関心をもっている。 (3) 地域政策や地域経済、中小企業の活動などに関心をもち、卒業後に、地域活性化に関わる自治体や企業で活躍したいという強い意欲をもっている。							

（※）卒業要件単位数：124 単位（基盤教育科目：28 単位以上、学科科目：６６単位以上、残り３０単位は自由選択）

3．複数のスペシャリティ（Major - Minor）							4．関心領域および視野の拡大			
・「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する専門的な理論や知識を修得している。							・地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる。			
地域創造学科：専攻科目群							発展科目群			
地域デザインコース科目群		観光コース科目群		食農マネジメントコース科目群			発展科目群		免許・資格科目群	
ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名		ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名
							JJ41302 JJ41301	地域創造学特殊講義２ 地域創造学特殊講義１		
	【演習】		【演習】		【演習】					
JJ32242 JJ32241	地域デザイン演習２ 地域デザイン演習１	JJ33241	観光マネジメント演習	JJ34241	食農企画演習					
	【応用科目群】		【応用科目群】		【応用科目群】					
		JJ33228	地域観光論	JJ34228	商品開発論				JJ42296	倫理学概論２
JJ32227	災害復興論	JJ33227	観光社会学	JJ34227	食品安全論				JJ42295	倫理学概論１
JJ32226	都市・地域安全論	JJ33226	観光地理学	JJ34226	食品企業論				JJ42294	哲学概論２
JJ32225	ユニバーサルデザイン論	JJ33225	サスティナブルツーリズム論	JJ34225	外食産業論				JJ42293	哲学概論１
JJ32224	都市表象論	JJ33224	観光マーケティング論	JJ34224	６次産業化論				JJ42292	政治学概論２
JJ32223	都市景観論	JJ33223	観光交流論	JJ34223	食育と食生活論				JJ42291	政治学概論１
JJ32222	住生活論２	JJ33222	観光交通論	JJ34222	食文化概論				JJ42290	地誌学２
JJ32221	住生活論１	JJ33221	観光政策論	JJ34221	フードマーケティング論				JJ42289	地誌学１
	【基礎科目群】		【基礎科目群】		【基礎科目群】		JJ41208	国際特別演習	JJ42288	自然地理学概説２
							JJ41207	国際表現演習	JJ42287	自然地理学概説１
				JJ34206	農業経済学		JJ41206	国際コミュニケーション論	JJ42286	東洋史概説２
JJ32205	都市デザイン史	JJ33205	観光行動論	JJ34205	食品流通論		JJ41205	国際事情	JJ42285	東洋史概説１
JJ32204	農村計画論	JJ33204	観光資源論	JJ34204	アグリビジネス論		JJ41204	非営利組織論	JJ42284	西洋史概説２
JJ32203	都市空間計画論	JJ33203	観光産業論	JJ34203	フードビジネス論		JJ41203	現代文化論	JJ42283	西洋史概説１
JJ32202	地域デザイン概論２	JJ33202	観光学２	JJ34202	食農マネジメント論２		JJ41202	地域メディア論	JJ42282	日本史概説２
JJ32201	地域デザイン概論１	JJ33201	観光学１	JJ34201	食農マネジメント論１		JJ41201	地域イベント論	JJ42281	日本史概説１
主専攻（メイン）のコース科目群から基礎科目群６単位以上を含み１８単位以上、かつ、副専攻（サブ）のコース科目群から基礎科目群４単位以上を含み１０単位以上（合計２８単位以上）							２単位以上			
・「地域創造学」の核となる「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、専門的な理論や知識を学ぶための科目を配置する。 ・専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目と実践的な演習・実習系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行うことができる科目を配置する。 ・選択したメインのコース（主専攻）から、学びの中心軸となる知識や視点を学修しつつ、サブとなるコース（副専攻）からも一定の科目を履修することで、「地域創造学」の学際的な性格を考慮しつつ、専門知識を深く学修することができる体制をとる。							・「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の４つの視点に留まらず、幅広い見識と視野を獲得し、また、学生の進路につなげるための科目を配置する。			

（4）暮らしをとりまくさまざまなデザインに関心をもち、卒業後に、地域の特性を踏まえた、都市インフラや居住空間，福祉，地域コミュニティを守り、育て、創造する分野で活躍したいという強い意欲をもっている。
（5）観光産業の基盤となる自然・文化・くらしといった地域資源に関心をもち、卒業後に、観光を通じて持続可能な社会の実現を目指す分野に従事したいという強い意欲をもっている。
（6）フードシステムや食文化などに関心をもち、卒業後に、食資源を活用した地域づくりに従事したいという強い意欲をもっている。
地域創造学は、経済学や経営学、社会学など複数の学問分野にまたがる学際的な学問です。加えて、地域（ローカル）を考えるためには、グローバルな視点も必要です。
そのため、国語・数学・地理・歴史・政治経済・公民・英語など幅広い科目の知識を身につけ、基本的な理解をしていることが必要です。
具体的には、地域の特色をとらえ、地域の問題・課題の解決策を考えるためには、地理・歴史・政治経済・公民といった知識が求められます。様々な地域を比較、分析するには基本的な数学の知識が必要になる場面もあります。
また、文章を正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、国語や英語の知識とその運用能力が必須となります。これらの能力は地域創造学を学ぶ上で、ぜひ身につけておきたい能力です。

追手門学院大学　基盤教育科目カリキュラムマップ

人材養成目的	市民として生涯にわたって自己を形成し続ける活動の基盤を養成する				
ラーニングアウトカム	①市民教養及び専門基礎の学びの基本となる多様なスキルやマインドを確保し実践に生かす			①人と社会と自然の複雑なかかわりを学際的視点で理解し、現代社会の価値観の多様性と広がりについて学びを深める ②学問の多角的なものの見方と捉え方、および学び方の多彩な方法論に出会い生活に生かす経験を積む	
科目群	ファウンデーション科目			リベラルアーツ・サイエンス科目群	
	初年次	外国言語	体育	リベラルアーツ・サイエンス系	人文学系
４年次					
３年次					
２年次		LA12210　日本語聴解上級２ LA12209　日本語聴解上級１ LA12208　日本語読解上級２ LA12207　日本語読解上級１ LA12206　Academic English 2 LA12205　Academic English 1 LA12204　Advanced English 2 LA12203　Advanced English 1 LA12202　Online English Seminar 4 LA12201　Online English Seminar 3		LA21202　Ｌ＆Ｓゼミ LA21201　未来課題	LA22202　国際異文化理解２ LA22201　国際異文化理解１
１年次	LA11104　コンピュータ入門２ LA11103　コンピュータ入門１ LA11102　日本語表現 LA11101　数的処理入門	LA12114　日本語聴解中級２ LA12113　日本語聴解中級１ LA12112　日本語読解中級２ LA12111　日本語読解中級１ LA12110　中国語２ LA12109　中国語１ LA12108　フランス語２ LA12107　フランス語１ LA12106　ドイツ語２ LA12105　ドイツ語１ LA12104　Online English Seminar 2 LA12103　Online English Seminar 1 LA12102　総合英語２ LA12101　総合英語１	LA13104　ネイチャーアクティビティ２ LA13103　ネイチャーアクティビティ１ LA13102　スポーツ実習２ LA13101　スポーツ実習１	LA21101　知の探究	LA22112　民俗学 LA22111　人文地理学 LA22110　西洋史 LA22109　アジア・オセアニア史 LA22108　日本史 LA22107　ことばと文化 LA22106　言語学 LA22105　西洋文学 LA22104　中国文学 LA22103　日本文学 LA22102　芸術学 LA22101　哲学
カリキュラムポリシー	「高校生」から「大学生」への移行に必要な学びの基礎力と情報を受信・発信する基本的スキルを修得するための科目	他者とのコミュニケーション（他者に情報を発信する、他者が発信する情報を受信する）のための基礎的スキルを修得するための科目	生涯にわたる健康維持のためのスキルを修得し、それを生涯体育へと連結させるための科目	市民としての自己形成のためには、その大前提として、現在の自己が、どのような歴史的、思想的、社会的、政治的、経済的、自然科学的文脈の中で生きているのかを明確に認識している必要がある。自己形成の前提となるこのような認識を、多様な学問領域全体からバランスよく修得するための科目	

			①学習者自らが行動する社会的な学びの場を広げる ②中長期の目標にそった自主的・自律的なキャリア開発と選択のためのスキル・態度・方法論を身につける ③学習者自らが設定・遂行する学際的課題を体験的かつ協同的に学ぶ経験を積む ④帰納・演繹の学びの本質と面白さを体得する	
			主体的学び科目	
	社会科学系	自然科学系	キャリア形成系	キャリア展開系
				LA32302 留学生キャリア形成演習２ LA32301 留学生キャリア形成演習１
			LA31201 キャリアデザイン	LA32208 日本事情４ LA32207 日本事情３ LA32206 グローバルキャリア論 LA32205 国際現地研修 LA32204 海外インターンシップ LA32203 リーダーシップ実地発展演習 LA32202 リーダーシップゼミナール２ LA32201 リーダーシップゼミナール１
	LA23113 認知の科学 LA23112 社会の心理 LA23111 スポーツ学 LA23110 教育学 LA23109 社会福祉学 LA23108 社会学 LA23107 社会・経済思想 LA23106 経営学 LA23105 経済学 LA23104 国際関係論 LA23103 政治学 LA23102 日本国憲法 LA23101 法学	LA24103 情報の科学 LA24102 生命の科学 LA24101 ものの科学	LA31110 日本事情２ LA31109 日本事情１ LA31108 ファシリテーション入門 LA31107 リーダーシップ入門 LA31106 キャリア数学 LA31105 キャリア言語 LA31104 キャリア形成プロジェクト LA31103 ボランティア論 LA31102 造手門アイデンティティ LA31101 自己との対話	LA32126 Japan Program(Social Issues in Japan)2 LA32125 Japan Program(Social Issues in Japan)1 LA32124 Japan Program(Japanese Business and Management)2 LA32123 Japan Program(Japanese Business and Management)1 LA32122 Japan Program(Modern Japanese Society)2 LA32121 Japan Program(Modern Japanese Society)1 LA32120 Japan Program(Japanese Traditional and Contemporary Culture)2 LA32119 Japan Program(Japanese Traditional and Contemporary Culture)1 LA32118 Japan Program(Japanese History and Literature)2 LA32117 Japan Program(Japanese History and Literature)1 LA32116 短期海外セミナー LA32115 海外セミナー LA32114 交換留学Ⅱ LA32113 交換留学Ⅰ LA32112 スポーツケア演習 LA32111 プロジェクト実践Ⅳ LA32110 プロジェクト実践Ⅲ LA32109 プロジェクト実践Ⅱ LA32108 プロジェクト実践Ⅰ LA32107 インターンシップ実習Ⅳ LA32106 インターンシップ実習Ⅲ LA32105 インターンシップ実習Ⅱ LA32104 インターンシップ実習Ⅰ LA32103 キャリア実践英語２ LA32102 キャリア実践英語１ LA32101 リーダーシップ実地基礎演習
			大学での学びをじぶんの力で価値あるものとし、卒業後の進路も含めて自分の将来の展望・設計への連結となる基本的な知識・技能・姿勢を修得するための科目	すでに修得した基盤となる知識・技能・姿勢を、様々な場において実践的に活用しながら、自分の将来の展望・設計に結びつけるための科目